～ねらい～

子ども一人ひとりは、世界にたったひとりのかけがえのない存在であり、幸せに生きる権利を持った主権者です。

にもかかわらず、子どもが成長する過程には性別による固定的なジェンダー（「男は強く、女はやさしく」などの性役割規範）が根強く存在し、子ども自身がその規範にとらわれている現状があります。

その刷り込みを着こんでいくと、将来の生き方を制限してしまうだけでなく、自分や友だち、親しい関係にある人の「こころ」と「からだ」を傷つけるデート DV などの支配関係から脱け出せなくなる可能性があります。

自分や他者の気持ちを大切にし、気持ちを伝え合えるなかよしになれるよう、ジェンダーや暴力の連鎖の構造に気づき、主体的に「強くやさしく」生きることを学んでいきます。

～プログラムの内容～

【技法】
クイズ、ＤＶＤ「みんな活き活き生きたいな」の視聴、言葉カード・感情サイコロ・ロールプレイ・グループディスカッション

【対象年齢】　３ - ６年生

【所要時間】　２時限（45 分 ×2）

【参加人数】　１クラス単位 (40 人まで)

【実施スタッフ】　ファシリテーター１名
スタッフ２名
（名札と上靴は各自持参）

・ファシリテーターは全体の子どもたちの様子を把握しながら、適切に時間を管理します。
・スタッフはクラスの子どもたちの様子を見ながら、場合によっては介入をします。

【設営・準備物】
ＤＶＤが上映できる機材、黒板、またはホワイトボード。椅子だけで横長に弧を描くような状態。

【備品】　児童用名札（事前に準備）

～ワークショップ費用～

１クラス 30.000 円

～授業の流れ～

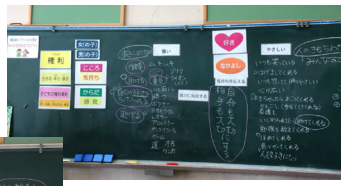
【1 時限目】
１）導入／①あいさつ　②権利・約束
③大切なこころとからだ

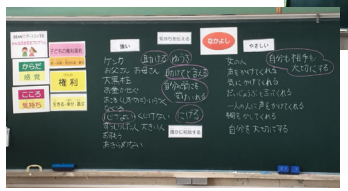
２）ジェンダーとは
①性別による思い込み
＊クイズ「医者と息子」
②男らしく・女らしくって何だろう
＊DVD の視聴１
③ジェンダーによる言葉のイメージと権利

３）大切な気持ち
①いろいろな気持ち ＊感情サイコロ
②恋愛の気持ち　多様なセクシュアリティ

【2 時限目】
４）暴力の連鎖
気持ちにフタをしていたらどうなる？
①強さとやさしさ
②男らしさと強さ
＊ロールプレイ１ «太郎と友だち»
＊DVD の視聴２
＊ロールプレイ 1-②
③女らしさとやさしさ
＊ロールプレイ２
«せっちゃんとあっちゃん»
＊ロールプレイ２-②
５）質疑応答

６）まとめ





このプログラムは NPO 法人 SEAN が 2002 年から取り組み始め、開発したプログラムであり、2016 年から共有し普及につとめています。